

錦織良成監督

「たたら侍」スタッフとともに

映画「たたら侍」の錦織良成監督が、スタッフとともに三月十二日に協会を訪問されました。

映画は戦国時代を舞台に展開され、その中で「たたら」が大きなポイントとなり、主人公の生き様がたたらを軸に展開されます。

その本編中に日刀保たたら操業の場面を挿入し、映画を通じてたたらや日刀、ひいては日本文化の奥深さを表現したいとの熱き思いを監督は語られ



ていました。そしてこの文化を外国にも伝えるべく制作に取り組む旨の烈々とした思いが語られました。

実際に一月に行われた日刀保たたら操業を監督は撮影に來られ、本物の迫力に大感激されていました。また主演の青柳翔さんやNAOKIさんも見学され、たたら操業のもつ「手ごね感」を実感されております。

監督は、感激のあまり映画全編で使用する予定であったフィルム量の半分近くを撮ってしまった、との後日談も披露されていました。

今回の訪問では、映画の効果を高めるために、日刀保たたら操業場面をまとめたメイキング映像を別途作成したいとの申し入れがあり、会長をはじめ協会役員は快諾しております。

この後の日程としては、たたらセットを屋外に組み、夏から秋頃には本格的に撮影が始まります。

いよいよ始動した「たたら侍」、今後その現場の熱き様子を逐次お知らせして参ります。

(たたら・伝統文化推進課長 黒滝哲哉)